

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.10 2010年5月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

エフ・シー・エス、Web 会議のクラウドサービスを開始



Flexible Cost Saver(エフ・シー・エス資料)

株式会社エフ・シー・エス(大阪府大阪市)は、同社が販売する Web 会議システム「Flexible Cost Saver(フレキシブル・コスト・セーバー)」月額固定クラウドサービスを 5 月下旬より販売開始した。

Flexible Cost Saver は、クライアント/サーバ型の Web 会議システム。同社では、2007 年よりサブスクリプション(ライセンス)ベースで販売開始していたが、それに加え、柔軟にコストを削減したいなどのユーザニーズに幅広く対応するために今回クラウドサービスも開始することにした。

「Flexible Cost Saver は、出張費などのコスト削減の他、アプリケーション共有やデスクトップ共有を活用したソフトウェアのテクニカルサポートなどを中心に導入実績がある。今後は、クラウドサービスでより多くのユーザに Flexible Cost Saver の良さをアピールしていきたいと考えている。」(エフ・シー・エス)

Flexible Cost Saver のクラウドサービスは、NTT コミュニケーションズ株式会社(東京都千代田区)の「BizCITY(ビズシティ)」を採用している。「クラウドサービスとして提供するため

には、Web 会議アプリケーション自体の品質だけでなく、ネットワークの品質もとても大切だ。両者は高品質なサービスを提供するにあたって両輪の関係であるからだ。そのため、当社では、クラウドプラットフォームとして高い安全性と品質を誇る BizCITY を採用した。これによって、海外との接続も含めた、高品質な Web 会議サービスが提供できると考えている。」(エフ・シー・エス)

Flexible Cost Saver クラウドサービスは、同時接続数ベースの月額固定サービスで、Web 会議と会議の予約と管理を備えた機能を提供している。

特長のひとつは、Web 会議機能のユーザインターフェイスがシンプルでわかりやすく操作しやすい点。たとえば、ログイン画面は、ユーザ(会議参加者を指す)もシステム管理者も同じ画面から ID とパスワードでログインし、それぞれの画面に入る。また、ユーザの Web 会議中の画面は、操作メニューをボタン化しているため、ワンクリックで各操作が簡単に行える。

またもうひとつは、会議室への同時接続数(最大 20 人)を越えない限り、ユーザの登録数、会議室の作成可能数、利用時間における制限はないという点。「これにより会議を行うためのコストや運用管理コストの大幅な削減が可能と考えている。」(エフ・シー・エス)

Flexible Cost Saver で会議予約する場合は、予約日時や会議室、参加者、あるいはゲスト参加者を設定することで参加者へメール通知する。そして、メール本文の URL をクリックすることで、参加者は会議室に入室することができる。また参加者のクライアントソフトについては、初めて会議室に入室する際に、自動でインストールされる仕組みになっている。

その他、会議中における、会議参加者数の増減や会議時間の延長については、会議予約管理画面から行えるよ

うになっている。

一方、Web 会議機能としては、映像と音声の通信(2~20人)、アプリケーション共有、デスクトップ共有、リモート操作、テキストチャット、ファイル転送などの他、画面の可変レイアウト、映像・音声品質の設定、HD映像(解像度1280x720)、HTTPS(SSL暗号化)、ネットワークの環境に合わせた帯域設定にも対応している。帯域設定は、システムが自動的に可変する方式と、ユーザが会議中に、映像、音声、データと自由に設定変更が可能な両方をサポートしている。

Web 会議機能のオプションとしては、録画機能と傍聴機能を提供している。録画は、Web 会議を行っている画面を録画するも。画面上にあるボタンをクリックすることで簡単に録画を開始、終了することができる。また録画されたデータは、Flexible Cost Saver に保存され、視聴することができる。その場合、Flexible Cost Saver にログインし専用のビューアで視聴する。「会議議事録の他、研修のビデオ教材等さまざまな場面で活用できる。またセキュリティの観点から、録画したものを Flexible Cost Saver サーバ上から持ち出したりすることができないようになっている。」(エフ・シー・エス)

一方、傍聴機能とは、会議の視聴のみを可能にする機能。会議室への同時接続数の他に追加できる。「説明会の視聴用、大人数でのセミナー開催、e-Learning にと、Web 会議を使える用途を広げることができると考えている。」(エフ・シー・エス)

その他、マイクスピーカやネットワークカメラと連携させるなどのシステムのカスタマイズにも対応する。「Flexible Cost Saver とAVシステムとの連携構築も対応する。これによって、たとえば、ネットワークカメラを、会議室を広めに見渡す位置に設置すれば、別拠点の会議室の様子を身近に感じながら会議することができるようになる。さらに、マイクスピーカを使用すればハンズフリーでの Web 会議も行える。」(エフ・シー・エス)

クラウドサービスの価格(消費税別)は、月額42,500円/5ユーザ、オプション20,000円/5ユーザからとなっている。オプションは、録画と傍聴機能。アカウント登録、会議室登録

をエフ・シー・エスにて設定する場合は、登録料として1万円がかかる。また、初回契約分については、契約後6ヶ月間の解約が行えない。

クライアントPCの要件としては、Intel Pentium4 2GHz、メモリ 512MB 以上を推奨。OSは、Windows 2000/XP/Vista。ブラウザは、Internet Explorer 6.0/7.0。

株式会社エフ・シー・エスは、1984年に設立。東京、横浜、大阪に事業所がある。従業員数183名。設立当初から汎用機やオフコン向けのシステム開発を専門に行い、2007年に経済産業省SI(システムインテグレータ)企業登録を取得して以降、自社開発システムやアライアンス企業との共同開発なども積極的に行っている。ERPパッケージ(コンソーシアム形式)や、帳票システム、トナーコスト削減システム(Toner Saver)、また、Flexible Cost Saver などがある。

ブイキューブの Web 会議、スマートフォンに対応

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、4月1日より主力サービス「nice to meet you」において、今回アップデートを実施し、iPhone と Android 携帯電話へ対応した。(4月21日発表)



iPhone 会議中の映像音声共有画面

今回の iPhone および Android 対応は、nice to meet you に新機能として搭載された電話連携機能の一環として位置づけられ、スマートフォンに対応することで、これまで以上に手軽に利用してもらい、利用シーンの拡大を図りたい

考えた。



Android 会議中の映像音声共有画面
会議への接続は、iPhone、Android 端末のメニュー画面にミーティング用のアイコンが表示され、ここからスタートする。
(ブイキューブ資料)

主な機能としては、電話機能を利用した音声通話、映像と資料の閲覧、チャット機能、ホワイトボード機能、撮影した写真のホワイトボードへの貼りこみなど、nice to meet you の主要な機能に対応している。スマートフォンからも PC と同様の利用が可能となっているという。なお、電話機能については、同時に最大 5 回線まで接続が可能となっている。

電話会議機能は、Web 会議へ電話で会議へ参加を可能にする機能。会議参加用の指定の番号に電話でコールし、手順に沿って入力するだけで Web 会議に参加できる。

今回の機能に対応する機種は、ソフトバンクの「iPhone3G」と「iPhone3GS」。iPhone OS3.1 以上。一方、NTT ドコモの「docomo PRO series HT-03A」と「Xperia」。Android OS1.6 以上に対応している。

今後の展開として、時期バージョンにおいては、音声も WiFi 接続を予定している。

同社では、この市場に対して、今後 1 年間で導入社数 500 社、売上 1 億円を見込んでいますと発表している。

2010 年 3 月に株式会社シード・プランニングから発行された『テレビ会議／Web 会議の最新市場動向 2010』において、国内シェア No.1 を獲得。Web 会議 (SI タイプ + ASP タイプ) にて市場シェア 19.4%、また Web 会議 (ASP タイプ) で市場シェア 23.7% を取得。3 年連続で国内シェア No.1 を獲得したことになるという。

(5 月 17 日同社発表により「V-Cube」とサービス名称変

更。)

アポロ技研、SIP 対応の多地点電話会議サーバの販売を 4 月より積極的に展開

アポロ技研株式会社(横浜市都筑区)は、SIP 対応の多地点電話会議サーバ「MP100」の販売を 4 月より積極的に展開している。

アポロ技研では、主力事業の電子機器や基板の開発受託に加え、自社製品の開発も事業展開しているが、今後は自社製品開発の拡大をしていきたいと考えている。この MP100 は、その自社製品のひとつとして開発し販売している。

MP100 サーバは、標準プロトコルに SIP を採用しているため、SIP サーバと連動して多地点電話会議の機能を提供する。MP100 1サーバあたり、100 ポート(人数、あるいは、拠点)実装しており、その 100 ポートの範囲で会議室を最大 35 室作れるようになっている。「会議室の数は、その範囲で自由に会議室を設定することが可能。」(アポロ技研)

また 100 ポートを越える多地点接続の場合は、オプションとして使用するサーバの能力を上げ 120 ポートまで対応可能だ。さらにポート数を増やしたい場合は、複数台の MP100 サーバの会議室を連結する方法で実現することを現在検討しているという。

「MP100 は、小規模な多地点会議から大規模会議まで幅広いニーズに対応したシステムとして提供していきたいと考えている。」(アポロ技研)

MP100 で電話会議を行う場合、まず会議主催者が PC の Web ブラウザから予約する。MP100 ログイン画面から ID とパスワードでログインし、予約画面に入る。予約画面では、通常会議かあるいは一斉同報(発言者以外はミュート)かの設定や、1 回だけの会議の他、毎日や毎週などの繰り返し予約などの設定を行えるようになっている。

そして、会議の予約が完了すると、参加者へメールが送信される。そのメールには、会議参加時に必要な、会議

内容、開催日時、会議室 ID、パスワードなどの情報が明記されている。

ユーザ名: 管理者 画面時刻: 2010年04月20日 17時53分

会議状況 ユーザ情報

予約者の氏名 番号部、次郎
 会議室番号 21
 会議室(パスワード(主催者)) 4200
 会議室(パスワード(参加者)) 0001
 会議室 会議室-サンゴ
 予約方法: 個別予約
 開始日時 2010年4月20日 17時00分
 終了日時 2010年4月20日 17時00分
 予約方法: 個別予約
 予約日時: 開始日時 2010年4月20日 17時00分
 予約日時: 終了日時 2010年4月20日 17時00分
 予約日時: 特別 2010年4月20日 17時00分
 終了日時: 2010年4月20日 17時00分
 終了日時: 2010年4月20日 17時00分
 メール通知 しない する
 自動閉鎖 しない する
 入室時に一度ユーザを確認 しない する
 会議録音 しない する

参加者情報(所属名: アポロ技研・開発) 追加

ユーザ名: 管理者 045-949-074-2 電話番号: apolohg@apollo.jp メールアドレス

検索 戻る

ユーザ画面：会議予約入力（アポロ技研資料）

ユーザ名: 管理者 画面時刻: 2010年04月20日 18時17分

会議状況 ユーザ情報

2010年4月

会議室番号	会議名	開始日時	終了日時	参加者
21	会議	2010.04.20 17:00	2010.04.20 18:00	2
22	会議	2010.04.20 18:00	2010.04.20 19:00	2
23	会議	2010.04.20 19:00	2010.04.20 20:00	2
24	会議	2010.04.20 19:00	2010.04.20 20:00	2
25	会議	2010.04.20 19:00	2010.04.20 20:00	2

参加者一覧

ID	氏名	所属	入室日時	退室日時
Ms001				
Ms002				
Ms003				
Ms004				
Ms005				

ユーザ画面：会議予約状況（アポロ技研資料）

会議開催日時が来ると、参加者は、メールに表示されている会議室番号と入室用のパスワードをもとに、MP100 へ電話をする。接続するとアナウンス案内が聞こえてくるため、そのアナウンスの指示に従い、会議室番号と入室用のパスワードをプッシュ信号(DTMF)で入力する。そこで認証されると、その参加者は、会議室へ入られる流れだ。

また開始時間までの間には、BGM 音楽が聞こえてくるとともに、参加者が入室する毎にチャイムが鳴るため、そのチャイムを聞くことで主催者は参加者が入室してきていることがわかるようになっている。

会議開催時は、基本的には、参加者が MP100 に電話で

コールする形だが、逆に参加者を MP100 から呼び出すことも可能だ。その場合、その呼び出される参加者の ID とパスワードは不要。

会議中には、会議の進行を円滑に行うための会議制御機能が提供されている。参加者をミュート(消音)したり、強制退出させたり、あるいは、会議室をロックするなどの操作の他、会議時間の延長や、参加者数の設定変更、会議の録音などの操作が可能だ。これらの操作は、Web 画面もしくはは電話機の番号操作で行う。

ユーザ名: 管理者 画面時刻: 2010年04月20日 17時53分

会議状況 ユーザ情報

ユーザID 0123
 所属名 アポロ技研 開発課
 氏名 番号部 太郎
 名前 アポロ 1100
 パスワード 2222
 電話番号 045-949-074-2
 呼び出し番号サーバ 1
 メールアドレス apolohg@apollo.jp
 メール

更新 削除 戻る

管理者画面：ユーザ情報更新（アポロ技研資料）

ユーザ名: 管理者 画面時刻: 2010年04月20日 17時53分

会議状況 ユーザ情報

ユーザ管理

所属名	所属名	ユーザID	ユーザ名
アポロ技研 開発課	アポロ技研 開発課		
アポロ技研 開発課	アポロ技研 開発課		
アポロ技研 開発	アポロ技研 開発		

管理者画面：所属一覧（アポロ技研資料）

一方、システム管理者の画面では、ユーザと同じ ID とパスワードでログインを行い、今度はシステム管理者用画面に入る。その画面では、ユーザ管理、会議の予約もしくは進行状況や履歴、SIP サーバ設定、ログ管理、時刻設定の設定操作が行えるようになっている。

その中の特徴のひとつにユーザ管理の所属管理機能

がある。その機能を使うと、ユーザひとりひとりの管理だけでなく、複数のユーザを束ねた部課毎の所属管理(ユーザを部課毎などによってグルーピングすること。)が行えるようになっている。セキュリティ機能として提供している。

「当社では、今後電話会議システムの伸びに期待してMP100を開発した。低コストで導入ができ、ユーザにとってもシステム管理者にとっても非常に簡単で使いやすいシステムのため、ご好評をいただいております。昨年7月に販売開始して以来、導入案件も増えてきた。昨今のユニファイドコミュニケーションや社内のコミュニケーションシステムのIP化などの動きを考えると、今後はそういった方面に強いシステムインテグレータと協業しながら、さらにMP100の販売を加速したいと考えている。」(アポロ技研)

アポロ技研株式会社は、1978年8月に設立。本社は、横浜市都筑区。社員は、172名。メイテックグループ企業。設立以来、電子機器やプリント基板など受託開発を中心に事業を展開。今後は自社製品開発も強化する。同社は、企画から設計、シミュレーション、製造、組み立て、評価まで一貫したワンストップ開発に特長がある。大阪支店の他、関連会社に、上海のShanghai Apomac Science & Technology社がある。

アルカディン・ジャパン、iPhoneに対応した会議コントロール機能を提供開始

アルカディン・ジャパン株式会社(東京都港区)は、電話会議サービス向けの会議制御アプリケーション「Arkadin iPhone Mobile Application(アルカディン アイフォーン モバイル アプリケーション)」を発表した。(5月14日)

Arkadin iPhone Mobile Applicationは、アップル社のiPhone端末から、電話会議への電話接続などが簡単にできるようにするiPhone用アプリケーション。

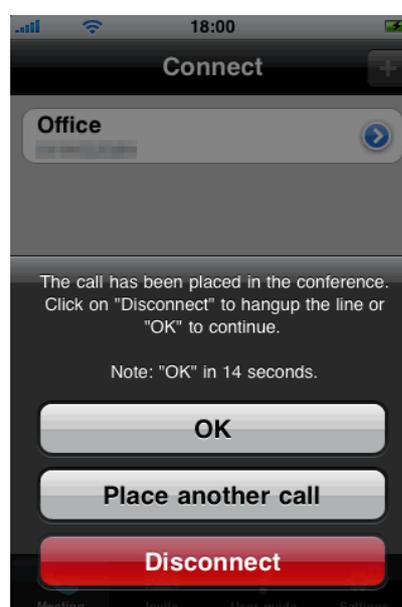
このアプリケーションは、アップル社のAppleStoreから無料にてダウンロード配布されている。アルカディン電話会議サービスの利用者で、iPhoneよりAppleStoreにアクセスしてダウンロードすれば、すぐにこのアプリケーションを利用して

電話会議サービスが利用できる。そのため事前の申込は不要だ。また、ダウンロードされたアプリケーションは、iPhoneメニュー上にアイコンとして表示される。

現在は、英語版と仏語版のみ対応しているが、今後日本語にも対応する予定という。「英語版と仏語版であっても、今すぐ利用可能だ。今後日本語が出た際に日本語版に切り替えるという方法もある。」(アルカディン・ジャパン)

Arkadin iPhone Mobile Applicationで提供されている機能は、主に3つある。

(1)ワンクリックで、アルカディンの電話会議サービスからコールバックを着信して会議に参加できる機能。その際のPIN番号は入力する必要はない。



Arkadin iPhone Mobile Application 画面例(アルカディン・ジャパン資料)



(2) iPhoneにあるアドレスブックを使い、ダイヤルインで会議に入れる機能。また、Arkadin iPhone Mobile Applicationに、PIN番号を事前に設定をしておくと、アルカディン電話会議サービスに電話接続した際に、iPhoneからPIN番号

を自動で送信することも可能。これにより、会議への接続の際の PIN 入力の手間を省けるメリットがある。

(3) iPhone から、会議番号などの情報が入った招待メールを参加者へ送信し、相手のスケジュールソフト(Outlook など)に自動で組み込むことができる機能。「iPhone からどこでもすぐに会議の招待や会議行える。」(アルカディン・ジャパン)

その他では、アルカディンの電話会議サービス用のアクセス番号リスト(国際フリーダイヤル番号を含む)や、電話会議利用時のユーザガイドを iPhone 画面で閲覧することができる機能も提供しており、これらの情報は逐次最新情報がアップデートされる仕組みになっている。

同社が今回 Arkadin iPhone Mobile Application を発表した背景としては、広く普及している iPhone 端末が、ユーザが会議制御するための端末として最適であるという点にあるという。「ユーザが既に慣れたスマートフォンで電話会議の会議制御が行えることで、ユーザの利便性をさらに向上できると思う。」(アルカディン・ジャパン)

従来の電話会議の制御は、今まで電話機のダイヤル番号ボタンを押したり、同社から提供されているウェブ画面を通してコントロールしたりしていた。そこにスマートフォンが今回加わることで、コントロール用のインターフェイスの選択肢がふえるとともに、iPhone で電話会議を、いつでも、どこでも、すぐに、そしてより簡単に始められるというわけだ。

また同社によると、今後は、Web 会議の資料共有機能をスマートフォンで提供することも現在検討しているという。

アルカディン・ジャパンは、フランスのアルカディン社の日本法人。電話会議、Web 会議、イベント会議などのサービスを提供している。現在 23 カ国に展開しており、日本法人は、2005 年に設立。また 2009 年には韓国にも設立。最近シンガポールのシングル社とも提携し、アジアへの足場を固める。全世界で毎月 300 万人が利用しているという。

直伝とロゴスウェア、ライブ型オンラインセミナー配信の ASP 事業で提携

株式会社直伝(東京都中央区)とロゴスウェア株式会社(茨城県つくば市)は、ライブセミナー需要に対応することを目的に業務提携を行い、ASP サービス「直伝マスターストリーム」を開始することを発表。(4 月 15 日)



直伝マスターストリーム画面例(直伝、ロゴスウェア資料)

直伝マスターストリームは、ロゴスウェアが開発するライブ型オンラインセミナー配信システム「POWERLIVE GigaCast(パワーライブ・ギガキャスト)」をベースに構築され、利用者への時間単位での貸し出しなどを直伝が行うサービス。

金融機関向けマーケティングサポート事業を行う、直伝では、これまでに約 8 年間で、金融・投資関連のセミナーを中心に 7000 回を越えるライブ型オンラインセミナーの運用実績があり、今回新たに配信システムについて完全リニューアルを行い、ロゴスウェアのシステムを導入した。

直伝マスターストリームの特長については、参加人数や閲覧環境の制限をなくし、多彩な画面設定と用途に合わせた帯域設定が可能とともに、映像や資料の大幅な品質向上を実現させた。これにより、数千人規模での実施も可能ながらも、会場セミナー中継にも使えるという。また、提供料金の低減も行っている。

加えて、講師の選定や開催内容などやライブセミナーの運用、さらに、集客のサポートなどのコンサルティングも

提供する。

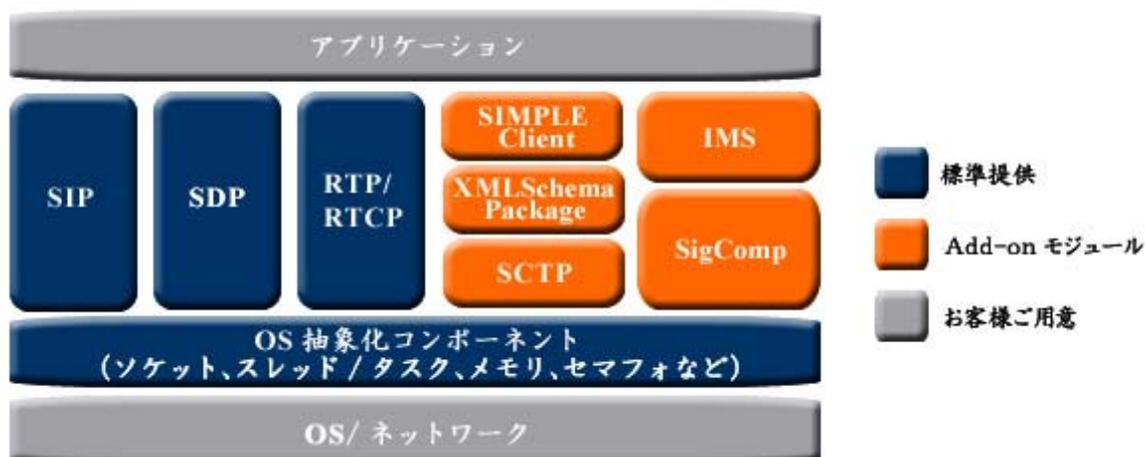
直伝によると、今後、金融・投資関連以外の他の用途へも積極的に事業展開をしていく考えだ。

NTT アドバンステクノロジー、SIP ツールキットの最新版を発表

NTT アドバンステクノロジー株式会社(東京都新宿区)は、最新の勧告や Android に対応した、同社が国内代理店として販売する、ラドビジョン社の通信ミドルウェア「SIP ツールキット 最新版 v5.5 GA3」を 4 月 30 日よりリリースした。

今回の最新版で追加した機能は、以下の通り。(1)対応 OS に、Android、Windows7、Wind River Linux、OSE を追加。(2)RFC4662(SIP Event Notification Extension for Resource Lists)に対応、(3)RFC4479(Data Model)、RFC4462(RMLI)、RFC5196(CAPS)、RFC4480(RPID)、RFC4482(CIPID)、draft-ietf-simple-xcap-diff-09(XCAP-diff)をサポート。(4)draft-ietf-sipping-config-framework-17(Framework for Session Initiation Protocol User Agent Profile Delivery)をサポート。

SIP ツールキットは、日本を含め世界 60 カ国、数百社以上の通信機器ベンダ、キャリアに採用されている。また RFC3261 準拠及び IMS 準拠のネットワーク・機器との接続実績がある。



SIP ツールキット アーキテクチャー (NTT アドバンステ

クノロジ資料)

主な特長は、以下のとおり。(1)最新勧告に迅速かつ生活に対応。標準化団体への参加および仕様提案活動を積極的に行っている。ドラフト、標準になる可能性の高い仕様も含め、いち早く最新勧告をサポートしている。

(2)優れた相互接続性。多数の相互接続イベントへの参加や主要ベンダ機器との定期的な相互接続試験実施などを行っている。

(3)柔軟なアプリケーション開発。機能毎にモジュールが分けられており、多種多様な API とコンフィギュレーション(メモリ使用数、タイマー値、自動動作など)により、ユーザ仕様にあわせた柔軟なアプリケーション開発や機能拡張が可能。また標準だけでなく、独自のメッセージ(メソッド、ヘッダ、レスポンス、ボディなど)への対応を可能とする仕組みも提供。

(4)ハイパフォーマンス。秒間数千のダイアログ・トランザクション処理を可能とするソフトウェア設計。

(5)組み込みにも適用可能なライブラリ。独自メモリ管理により、呼接続毎の少ないメモリ消費を実現し、メモリに制限のある組込デバイスにも利用可能。

(6)高い移植性。OS 依存部分を局所化し、スタック部分と分離することで、対象プラットフォーム上での安定動作と異なるプラットフォームへのアプリケーションの再利用が可能。

(7)ソースコードの提供。全てソースコード(ANSI C 準拠)で提供。またログ機能(受信メッセージ、各 API の動作、リソース状態などを出力)により、開発者自身でのデバック、カスタマ

イズ、メンテナンスが可能。

(8) サンプルアプリケーションをバンドル。アプリケーション開発が容易になるよう、実行可能な多数のサンプルアプリケーションをソースコードで提供。開発者のアプリケーションへの利用が可能。

事業動向-国内

アデコとNTT東日本、光ブロードバンドを活用した遠隔面談トライアルとテレワーク市場拡大に向けた協業の発表

アデコ株式会社(東京都港区)と東日本電信電話株式会社(東京都新宿区)は、光ブロードバンドと映像コミュニケーションを活用した遠隔面談トライアルの実施と、テレワーク市場拡大に向けた協業を推進していくことで合意した。(4月14日)

両社は、今回の協業によって業務運営ノウハウなどの蓄積を行い、テレワーク市場の拡大のためのビジネスモデルを検討する。アデコが平成22年度内に予定している、インターネットにかかるパッケージ化と映像コミュニケーション、そしてサポート体制を活用した「在宅ワークサービス」導入の他、将来的に予定しているテレワーク導入検討企業への支援などがある。



遠隔面談トライアルイメージ (NTT 東日本資料)

遠隔面談トライアルは、最寄りのアデコ登録拠点から、求職者や派遣スタッフが、専門業務や職種に精通したキャリアアドバイザーとの遠隔面談を試験的に実施するもの。首都

圏を中心にアデコの3拠点において4月15日から。またこのトライアルでは、NTT 東日本の NGN 対応光ブロードバンドサービス「フレッツ光ネクスト」と、パソコンで映像コミュニケーションが利用できる無料ソフト「ひかりソフトフォン」、オペレータが電話やパソコンで遠隔でサポートする「リモートサポートサービス」を活用する。

両社は、今回のトライアルを通じて、利用者アンケートや運用トラブル事例の収集、また導入効果の相互検証などを行い、平成22年度内に、首都圏から東日本エリアを中心に全国へ拡大していく予定。また派遣スタッフとキャリアカウンセラーの定期面談等での活用も検討する。

アデコは、今まで国内約43,000人の契約スタッフの就業を支援し、国内190拠点において求職者や派遣スタッフとキャリアアドバイザーの面談を行ってきた。しかし、紹介に至らない場合、求職者に時間や交通費等の負担が生じることや、専門性が極めて高い業務のスキル把握は特定の社員への負担が大きいなどの課題があった。

そのため、今回の協業を通して、アデコとしては、求職者や派遣スタッフの利便性向上、また、キャリアアドバイザーによる精度の高い業務スキルの把握、さらには、カウンセリングの頻度の向上により、契約企業からのさらなる信頼を獲得したい考えだ。

一方、NTT 東日本としては、利用者の意見を幅広く収集分析し、ひかりソフトフォン等の機能開発に取り組んだり、新たな利用シーンの開拓などを通して、映像コミュニケーション普及拡大を促進したい考えだ。

製品・サービス動向-海外

ライフサイズ社、HD対応のストリーミング配信が行えるオールインワンアプライアンスシステムを発表

Logitech 社の事業部である、ライフサイズ・コミュニケーションズ社は、HDビデオをストリーミング配信できる「LifeSize Video Center(ライフサイズビデオセンター)」を発表した。(4月29日)

LifeSize Video Center は、ワンボタンで720p30フレーム

/秒の HD 画質のストリーミング配信、レコーディング(録画・録音)、自動パブリッシュが行える、1Uサイズのオールインワン アプライアンスシステム。配信は、ライブあるいはオンデマンドに対応。



LifeSize Video Center-前面、1U サイズ(LifeSize 社資料)



LifeSize Video Center-視聴者側再生画面例 (LifeSize 社資料)

LifeSize Video Center は、企業にとって求めやすい価格設定(price point)でありながら、高性能・高機能を実現しているという。直感的なユーザインターフェイス、さらに、1ボタンで録画・録音など、簡単にインテリジェントな操作性を提供しているという。

主な機能としては、以下の通り。(1)プッシュ・ボタン・レコーディング。LifeSize 220 シリーズ端末からワンボタンで簡単にレコーディングとパブリッシュ操作が行える。

(2)自動パブリッシュ機能。レコーディングキーを使ってコンテンツを自動で整理。

(3)ユーザコントロールレイアウト。レコーディングと再生時に、視聴者は、映像とプレゼンテーションを表示した画面レイアウトを替えることが可能。

(4)柔軟性。ダイヤルイン(in-call)とダイヤルアウト(out-of-call)いずれの接続時でも、レコーディングとストリーミングが行え、ライブもしくはオンデマンドで再生も可能。

(5)インテリジェントマネージメント。ユーザの権限に基づ

いて、ウェブポータルコンテンツを自動でカスタマイズすることが可能。



LifeSize Video Center-Web インターフェイス例(LifeSize 社資料)

(6)アドミニストレーターコントロール。直感的で集中管理が可能なユーザインターフェイス。セットアップ、アクセス、モニターが効率的に行える。

LifeSize Video Center の企業での導入によって、遠隔地の事業所などに対する、経営幹部のメッセージやコミュニケーション、あるいは、研修トレーニングが促進される、また一方で教育分野でも遠隔学習などでの活用に同社では期待している。

昨年12月にスイス Logitech 社の傘下に加わったライフサイズ・コミュニケーションズ社。日本での拠点は、株式会社ロジクール LifeSize 事業部(東京都港区)。国内の総販売代理店は、株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)。

導入・利用事例-海外

米多地点接続事業サービス Global

Conferencing Solutions 社、ラドビジョンの SCOPIA Elite MCU を導入

Global Conferencing Solutions 社は、ラドビジョン社の多地点接続装置「SCOPIA Elite MCU」を採用した。Global Conferencing Solutions 社は、米、ミネアポリスに本

社がある多地点接続サービス事業者。

SCOPIA Elite MCU の採用によって、1080p HD 解像度によるビデオ会議、HD による多地点接続サービス、テレプレゼンスシステムとの相互接続、PC やマックに対応したデスクトップシステムとの接続などがサービスとして提供可能になるという。

今回の導入については、Global Conferencing Solutions 社の関連会社である、HD Distributing 社が担当した。HD Distributing 社は、ラドビジョン社製品の北米でのディストリビューター。SCOPIA Elite MCU 以外にも、HD ビデオ会議システム「SCOPIA XT1000」やラドビジョンがサムソンと共同で開発した「SCOPIA VC240」なども提供している。

ラドビジョン社の日本法人は、RADVISION Japan 株式会社（東京都台東区）。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程：2010年6月 2日(水)、9日(水)、16日(水)、23日(水)、30日(水) ※全ての日程で14:00～15:00、16:00～17:00の2回開催
会場：NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催：NEC
詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

Flexible Cost Saverクラウドサービス 無料体験セミナー

日時：大阪：第1回6月3日 10:00-12:00 第2回6月10日 14:00-16:00

東京：第1回6月9日 15:00-17:00 第2回6月15日 15:00-17:00

主催：株式会社 エフ・シー・エス

詳細・申込：<http://product.fcs21.jp/cost/cloud.html>

コスト削減、業務効率化、パンデミック対策にも有効
早分かり！Web会議導入の秘訣&事例セミナー
ASP型Web会議システム国内シェアNo.1のブイキューブがWeb会議システムの選び方のポイントや活用事例を紹介

日時：6月8日(火) 14:30～16:45(受付開始 14:15～)

会場：中目黒 GT プラザホール

主催：株式会社ブイキューブ

メディア協力：ソフトバンク ビジネス+IT

詳細・申込：<http://www.sbbit.jp/eventinfo/10532?ref=1004517ev>

『クラウドコンピューティング時代の劇的経費削減』
厳しい経済状況にワークスタイル革新で 劇的経費削減と
推進力増強==新サービス 会議室型 SaasBoard 発表 ==

日時：6月18日(金)13:30-17:00(開場：13:00)

会場：渋谷区商工会館

主催：ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込：

<http://www.neuronet.co.jp/seminar/mailform100618.html>

< 海外 >

InfoComm 2010

日時：6月5日-6月11日

会場：アメリカ ネバダ州 ラスベガス

主催：InfoComm International

詳細・申込：

<http://www.infocommshow.org/infocomm2010/public/enter.aspx>

*会議システム関係が多数展示。

The WR CSP Summit - Berlin 2010

日時：6月21日

会場：ドイツ ベルリン The Steigenberger Hotel

主催：Wainhouse Research, LLC

詳細・申込：

<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=334>

The WR Collaboration Summit - Berlin 2010

日時：6月22日-23日

会場：ドイツ ベルリン The Steigenberger Hotel

主催：Wainhouse Research, LLC

詳細・申込：

<http://www.wainhouse.com/events.php?sec=34&opt=upcoming&event=313>

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

次回も宜しくお願いします。

(橋本啓介)